

Γαλιλαία

ガリラヤ

知っておきたいキリスト教のことば (45)

ガリラヤ がりらや

新約聖書を読みますと、「ガリラヤ」という地名にはよい印象を持たれるのではないのでしょうか。イエス様はガリラヤのナザレで生まれ、ガリラヤ湖で漁師たちを弟子にしました。

さらにヨハネ福音書に出てくる、水をぶどう酒に変えた奇跡の舞台であるカナもガリラヤ地方にあります。

しかし旧約聖書を見ると、ガリラヤという地は異邦人的な要素が多かったようです。というのも、ガリラヤはイスラエルの北部に位置し、外国からの攻撃を受け、幾度も侵入されていたからです。そのため、人種的にも文化的にも、他民族との混合が見られたそうです。「異邦人のガリラヤ(イザヤ 8:23)」という表現は、このような背景から出て来ています。

そして紀元前1世紀のマカベヤ王朝の時に、ガリラヤにユダヤ人たちが多く入植します。しかしイエス様が生まれた時代においても、ガリラヤはエルサレムから侮辱されていたようです。

エルサレムは宗教や経済の中心であり、イスラエルの救いはエルサレムにあると思われていました。ところが宗教指導者たちが馬鹿にしていたガリラヤにイエス様は生まれ、ガリラヤを舞台に活動していきます。

共観福音書では特に、ガリラヤで民衆と共に歩まれ、十字架につけられるためにエルサレムへと上っていくイエス様の姿が強調されます。そこには、エルサレムの権威主義に対する批判が込められていると考える人もいます。

イエス様は当時の世界の中心ではなく、民衆の間に生まれ、歩まれました。そして「ガリラヤ」に先に行くことと約束されました。民衆の間にいつもいて下さるといふその約束が与えられているのです。

次回は「姦淫」です。楽しみに。



「東から見たガリラヤ湖の全景」

ビジュアル聖書ソフト Glo より

さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる』と。」

(マルコによる福音書 16章7節)

